

令和4年 10月

■一般文学

「記憶とつなぐ 若年性認知症と向き合う私たちのこと」

・著:下坂 厚・下坂 佳子

・出版社:双葉社

「なんだかおかしいな…」

著者の下坂厚さんは、日常生活の中で通勤の道を間違えたり、簡単な計算を間違えたり、毎日会っている同僚などかなり近い関係性の人の名前が出てこないということが少しずつ増えてきて、46歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断されました。

夫婦ともに180度変わってしまったという人生に絶望し、厚さんは趣味だった写真も撮れなくなっただけでしたが、2年半後には、写真撮影も楽しみながら認知症の啓蒙活動も積極的に行い、認知症をきっかけとして、第二の人生を喜びと希望を感じながら歩んでいると言います。

この本では、どんなことに絶望してどんなことに救われたか、妻と過ごしてきた日々、どのようにして今のようにポジティブになれたかを、できるだけ包み隠さず伝えたいという思いで、当事者とその家族の視点で綴っています。

厚さんを見守り続ける佳子さんの覚悟、厚さんの前向きに考える力や行動力に感銘を受ける手記。

(対象 一般)

■一般書

「雲を知る本 空がおしえてくれる天気と災害のこと 気象予報士わぴちゃんにおまかせ！」

・著:岩槻 秀明

・出版社:いかだ社

雲を眺めていると、絶えず動いていて、形もどんどん変化していきます。

雲には、いわしぐも、うろこぐも、うすぐも、ひつじぐもなど様々な呼び方があり、どんな雲か観察することは、天気を読む助けにもなります。もくもくとした入道雲が、成長して積乱雲になり、はげしい雷雨をもたらすこともあるそうです。

この本では、雲のいろいろ、天気の種類、気象災害を、写真や図で視覚的に学ぶことができます。雲の見方をより深めてくれるのではないのでしょうか。

(対象 一般)

■児童書

「神社のえほん」

・作:羽尻 利門

・出版社:あすなろ書房

十月の和風月名は、^{わふうげつめい}神無月。^{かなづき}この月になると、日本全国の神々が出雲大社に集まり、各地の神々が不在になることから、こう呼ばれるようです。「^{やおよろず}八百万の神」という言葉がありますが、私たちの暮らしには山、川などの自然や、トイレや台所、米粒などにも、目に見えないたくさんの神様がいます。

そんな神々に深く感謝し尊敬する「^{しんどう}神道」についてわかりやすく書かれています。神社で行われるお祭りや儀式など、一つ一つの意味を知って日本の伝統文化に触れてみませんか。

(対象 小学中学年から)

■絵本

「世界の市場 ～おいしい！たのしい！24のまちでお買い物～」

- ・作：マリヤ・バーハレワ
- ・絵：アンナ・デスニツカヤ
- ・訳：岡根谷 実里
- ・出版社：河出書房新社

表紙を見ただけで、異国の香りがしてくる絵本です。イスラエル、チリ、タイ、スペイン、フランス、アメリカ、ドイツ、ロシア、中国、ハンガリー、モロッコ、イギリス。世界12か国24都市の市場を訪ねます。市場の様子や市場に行くときの持ち物、市場でよく売られているもの。どんなことばを使ったらいいか、ちゃんとカタカナのルビがついているので、覚えておくといいかもしれません。その国でよく食べられている料理のレシピもつけています。

タイの水上マーケットや、ブタペストの中央市場、モロッコのジャマ・エル・フナ広場、活気あふれる市場の様子が細かく描かれていて、すみからすみまで楽しめます。早くいろいろな国にお買い物に行くようになるといいですね。

(対象 小学中学年から)